

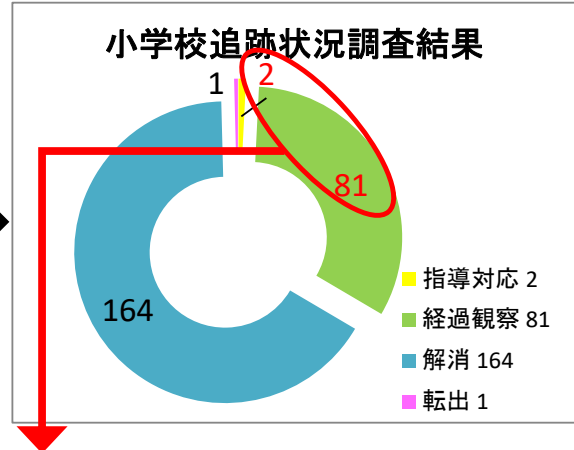
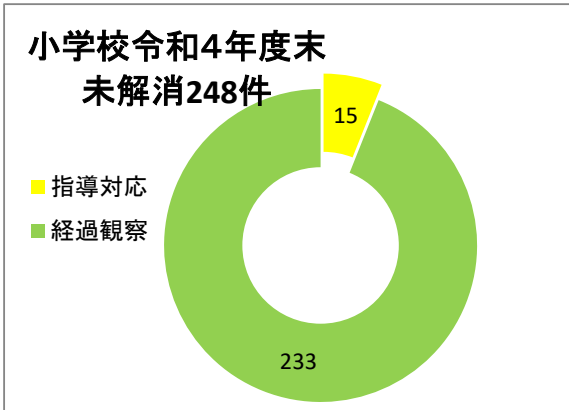
本調査は、令和4年度に「いじめに関する報告書」を提出した学校のうち、年度末の状況調査においても「指導対応中」、「経過観察中」と報告した事案について、新年度(令和5年1学期末)にどのような状況であるのかを追跡調査したものである。

なお、令和4年度の6年生は、進学先の中学校で状況を確認・報告されたものを小学校に記載しているが、市立小・中・義務教育学校以外への転出、および中学校卒業の場合は、追跡調査対象外としている。

1 小学校のまとめ

- 令和4年度末の未解消件数は248件。うち15件が指導対応中で、233件が経過観察中であった。
- 本調査により解消の報告があったのは、指導対応中15件のうち10件、経過観察中233件のうち154件である。
- 今後も継続して指導対応や経過観察を行うケースは83件の状況である。

令和4年度末の状況	指導対応中 15件				経過観察中 233件			
	指導対応	経過観察	解消	転出	指導対応	経過観察	解消	転出
令和5年度の追跡状況	0件	5件	10件	0件	2件	76件	154件	1件



◆現在も解消と判断していない事案

【指導対応中(2件)の主な理由】

- ・被害児童の加害児童に対する不安が解消していない。
- ・未だ被害児童が加害児童から嫌がらせを受けていると訴えている。

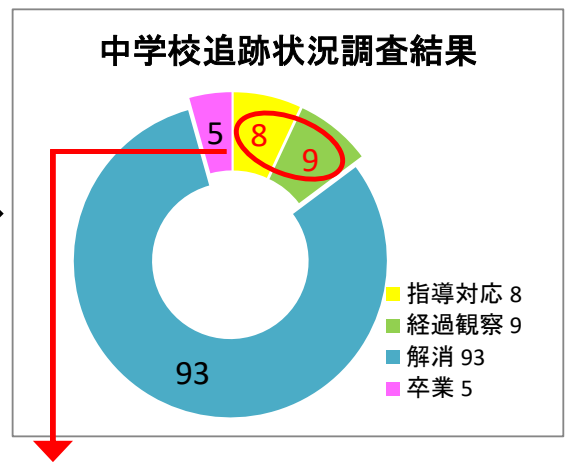
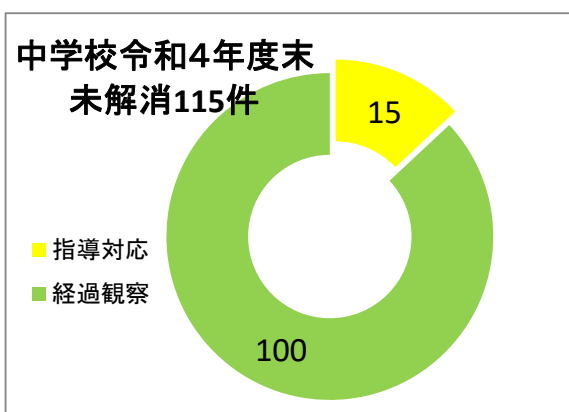
【経過観察中(81件)の主な理由】

- ・加害児童との関係について今後も見守る必要があるため。
- ・保護者が加害児童との関わりを気にしているため。
- ・加害児童の粗暴な行動や衝動性を見守るため。

2 中学校のまとめ

- 令和4年度末の未解消件数は115件。うち15件が指導対応中で、100件が経過観察中であった。
- 本調査により解消の報告があったのは、指導対応中15件のうち6件、経過観察中100件のうち87件である。
- 今後も継続して指導対応や経過観察を行うケースは17件の状況である。

令和4年度末の状況	指導対応中 15件				経過観察中 100件			
	指導対応	経過観察	解消	卒業	指導対応	経過観察	解消	卒業
令和5年度の追跡状況	8件	1件	6件	0件	0件	8件	87件	5件



◆現在も解消と判断していない事案

【指導対応中(8件)の主な理由】

- ・保護者の折り合いがつかないため。
- ・関係機関と連携し、継続対応しているため。(8件中6件同一生徒)

【経過観察中(9件)の主な理由】

- ・行為は収まっているが、被害生徒が依然不安をもっているため。
- ・保護者が加害生徒との関係を心配しているため。
- ・トラブルの再発防止のために見守りが必要なため。

3 高等学校のまとめ

- 令和4年度末の未解消件数(経過観察中)は1件であったが、本調査により解消の報告を受けた。